

## 学校感染症と出席停止

### (1) 学校感染症罹患時の対応

次ページ表の感染症は、出席停止措置になります。

- ・罹患した場合、または疑いのある場合は、速やかに学校にお知らせください。症状や医療機関受診状況なども詳しくお知らせください。
- ・御家族の感染症罹患や御兄弟の学校での感染流行状況等、情報提供をお願いいたします。
- ・感染拡大防止のため、学校感染症発生時は学校からメール配信サービス（マチコミ）にて情報をお知らせします。
- ・登校再開時は、「登校許可書」を Forms にて御提出ください（罹患疑いの場合も必要です。）  
以下の QR コードを読み取り、必要事項を入力して送信してください。

#### 令和 8 年度 登校許可書提出フォーム



登校日までに入力をお願いいたします。

- ① 診断名
- ② 欠席期間
- ③ 登校を許可された日
- ④ 受診した病院

学校感染症一覧

分類	感染症の種類	出席停止の基準
第1種	エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡 南米出血熱、ペスト、マールブルグ病 ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア 重症急性呼吸器症候群（SARS） 鳥インフルエンザ（H5N1） ＊上記の他、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症	治癒するまで
第2種	新型コロナウイルス	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで
	インフルエンザ	発症後5日を経過し、かつ解熱後2日経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了まで
	麻疹（はしか）	解熱後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風疹	発疹が消失するまで
	水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜炎（プール熱）	主要症状消退後2日を経過するまで
	結核 髄膜炎菌性髄膜炎	病状によって学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで
第3種	コレラ、細菌性赤痢、 腸管出血性大腸菌感染症（O157） 腸チフス、パラチフス 流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、	病状によって学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで
	その他の感染症 例）手足口病、溶連菌感染症、伝染性膿痂皮（とびひ）、伝染性紅斑（リンゴ病）、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、ヒトパピローマウイルス感染症 等	条件により出席停止となる感染症。 感染症の種類や地域・学校における発生、流行の状態等を考慮して判断する。校長が学校医の意見を聞き、出席停止と判断した場合は、その期間を決定する。

## (2) 校内の感染症対策

様々な集団で学習活動やスクールバス等での登下校を行っていること、身体接触や体液に触れる介助を伴うことから、慎重な対策を行っていきます。

- ・職員は一行為一手洗い（石鹸での手洗い又は手指消毒）を徹底し、必要に応じて使い捨て手袋、使い捨てエプロン、フェイスシールド等防護具を使用します。
- ・唾液や痰、鼻水、排泄物等で教材や教室が汚れた際は、アルコール消毒液又は次亜塩素酸ナトリウム希釈液で消毒を行います。

### 感染症予防対策・環境衛生についてのお願い

- \*排泄物や吐物、血液で汚れた洋服・タオル類は、感染予防の観点から洗濯せずにビニール袋に密閉して持ち帰ります。マスクやタオルは汚れたら交換しますので、替えを多めに用意していただきますようお願いいたします。
- \*教室や自立活動で横になる場合、個人のタオル等を敷いて使用します。お子さんによって使用するタオルの大きさや枚数が違います。担任と相談して御用意ください。また、適宜家庭に持ち帰りますので、洗濯をお願いいたします。
- \*衛生の観点から、使い捨て手袋、洗浄した個人用の食具を拭くタオル、ハンカチやボックスティッシュを御用意ください。

### ネブライザーの使用について

ネブライザーを使用した生理食塩水の吸入はエアロゾル感染の可能性があるので、学校医の指示のもと中止しています。主治医から実施の指示があり、教室内の環境を整えられる場合は検討します。

なお、生理食塩水以外の薬液吸入は医療的ケアになりますので、申請を検討される場合は担任・保健室まで御相談ください。

### 発熱での欠席・早退後の登校の目安について

発熱での欠席・早退時は、次の登校まで以下のように様子を見ていただきますようお願いいたします。体温や全身状態などの経過は連絡帳に御記入ください。1日で解熱しない場合、受診をお願いいたします。

#### ① 症状が発熱のみの場合

→ 朝・昼・夜・睡眠前に検温し、その日のうちに平熱に戻れば登校可能。

#### ② 発熱+風邪症状（鼻水・咳・倦怠感等）がある場合

##### ① でその日のうちに解熱しなかった場合

→ 朝・昼・夜・睡眠前に検温し、解熱し風邪症状が消失したあと、普段の様子で過ごせるようになれば登校可能。